

技能試験実施委員会（平成30年度 第1回）議事録

日時：平成30年5月22日（火）13:00～16:00

場所：地盤工学会会議室 3F 中会議室

出席者：日置委員長，澤，中澤，中山，沼倉，山内，渡邊，城野，中川，服部，若杉

配付資料：

議題：

1. 平成30年度の体制について

- ・配付資料「H30年度第1回幹事会（4月9日）議事録(案)」について，平成30年度の委員会体制(幹事会案)が承認された。
- ・基準部会担当委員の交代について，来年度以降，渡邊委員に再検討して頂く。
- ・配付資料「基準部「技能試験実施委員会」名簿」の修正点は，以下になる。
沼倉委員の勤務先：地盤部⇒業務部
渡邊委員の郵便番号：113-0033⇒113-8656

2. 活動検証・再評価WGからの宿題への対応について

- ・配付資料「技能試験実施委員会 活動検証・再評価について（1月12日）」について，内容の説明があった。
- ・改善項目の一つに，配付資料「試験結果報告票」の提出が挙げられており，検討した。検討内容としては，「参加機関番号」，「参加機関責任者の署名・捺印欄」，「試験担当者の変更時期」などがあり，意見があったら藤原委員と中山委員へメール連絡する。藤原委員と中山委員が最終調整を行ない，「試験結果報告票」を完成させる。
- ・過去5年分の技能試験報告書をJGS学会基準部のHPに載せる。その前に，「参加機関を外す」，「表示項目やページ誤植などの修正」などの作業を行う。担当は，中山委員。期限は7月20日とする。
- ・配付資料「技能試験における評価方法とその妥当性について別紙2」について説明があり，委員長より，以下の方針が示された。
 - (a) 平成31年度に，活動検証，再評価WGからの宿題（標準試料を用いた技能試験の実施）に対応したい。
 - (b) そのつもりで，試料・試験グループには今年度から「標準試料」について検討してもらいたい。例えば，ふるい分析：硅砂，液性限界・塑性限界：カオリン，一軸圧縮試験：ゴム材料，湿潤密度：鉄の塊など…。
- ・中山委員より，赤本（2019年度出版予定）の解説への掲載内容について提案があり，参考文献（技能試験の報告書）を明記すること，変動係数は一般的な変動係数を用いることが確認された。進捗があれば，委員会に随時報告。担当は，中山委員。

3. 平成30年度の技能試験について

オブザーバー参加の服部氏より，準備状況と配付資料「作業工程表」について説明があった。3年前の反省点より，今回の改善点として，粘りが強い材料（笠岡粘土）に母

材を変更するとのこと。プラモールド内部に剥離剤（コンクリート用）を使用してはどうかと山内委員より提案があり，試料・試験グループにて検討することとした。

今後のスケジュールと参加申込フォーム(入力事項)について説明があり，フォームの「試験実施者 氏名」を「試験実施予定者 氏名」に修正することとした。

また，中澤委員よりアンケートの作成方針について説明があった。アンケート（案）は6月末に作成し（分担は，全般：中澤委員，一軸圧縮試験：沼倉委員，湿潤密度試験：若杉），その後，メール審議とする。なお，アンケートは，試料と同時に送付することが確認された。

4. その他

- ・日置委員長より，2017年度の収支報告があった。
- ・日置委員長と澤委員を中心に，地盤工学ジャーナル（報告）への投稿準備を進める。
- ・次回の全体委員会は，平成31年1月頃に開催予定。場所は，東京。
- ・幹事会は，必要に応じて開催予定。

（文責：若杉）